

屋久島町立 金岳小・金岳中

金岳だより

平成28年3月4日 発行

校長

いよいよ平成27年度も最後の月を迎えてしまいました。時の流れというものは、早いものです。

まもなく小学6年生の4名の児童が、「第64回金岳小学校」の卒業生として、中学3年生の2名の生徒が、「第61回金岳中学校」の卒業生として巣立っていきます。卒業生及び保護者の皆様方に、心からお祝い申し上げますとともに、直接・間接的に指導・援助にかかわってくださった島民の方をはじめ、多くの方々に厚くお礼申し上げます。

卒業式は出口であり、そして入り口でもあります。そんな卒業式が今年度ももうすぐやってきます。他の学年の子ども達も、次の学年への一歩を踏み出せるように、1年間のまとめに取り組んでいます。進学、進級への大事な残り期間を、ご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。

さて、小学校が、『かしこく・やさしく・たくましく』、中学校が、『自学・規律・健康』が本校の校訓です。これらの校訓をしっかり守れるように、そして金岳小学校、金岳中学校の伝統を継続し、子ども達の教育にあたっていききたいと思えます。残された期間、卒業していく小学校6年生、中学校3年生とともに、平成27年度の総まとめをし、希望に燃える新入生とともに新しい年度を迎えたいと思います。今年度も、保護者や島民の皆様にはたいへんお世話になり、ありがとうございました。来年度も、保護者・島民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



中学校体験入学 及び入学説明会

2月4日(木)に中学校体験入学及び入学説明会を行いました。

小学6年生が中学1年生2名と一緒に理科の授業を受けました。マグマの性質について小麦粉を使った実験も行いながら中学校の授業を体験してもらいました。

なお、平成28年度入学式は、4月6日(水)に行われます。多くの方に3名の入学を祝ってもらいたいと思います。多数のご列席をよろしく願います。



立志式

2月5日(金)に立志式が行われ、2年生が「立志」を迎えました。

色紙に書かれた「外柔内剛」について説明を行い、これからの自分という題で決意の言葉を発表しました。



僕は屋久島に避難している間に様々な人たちに会いました。その時にあるお坊さんからしい言葉ももらいました。一つ目の言葉は「最初の友は信」という言葉です。これは人生の間に本当に信頼できる心をありのままにぶつけるこ

とのできる友達や、言葉を見つけないという意味です。僕はまだ、本当に信じていることのできる友達や言葉を見つけないことではできていません。しかし、出会うべき時に会おうと思っているのだからと構えていきたくありません。二つ目は「これからどう生きるかによってこれまでが決まる」です。これは、僕の勝手な解釈ですが、これまで生きてきた知識、経験、をどのように使うかでこれまで生きてきた価値が決まるのではないかと思つた。これは理屈では分かっていると思つていますが、根本的な所では分かっていると思いません。

ほかにもお坊さんは、物やお金がいくらあっても人の心を満たすことはできないとおっしゃっていました。

あと僕は、他人と比べるのではなく、今までの自分を見ていこうと思つています。今まで僕は「他人がこうするならば僕もこうしよう。」「相手がここまでやるならば、僕はここまで」のような考え方が多かった気がします。しかし、ここからはその考え方を少しずつ変えていきたいと思います。つまり、自分と比べるということです。自主的な行動ということですね。そのなるためにはまず気付けなければなりません。そのためには回りをよく見て行動するのは大切なことだと思つています。また、自分の意志をしっかりもちたいです。

また、自分の直したい所もあります。厄介なことにあたるすぐに逃げてしまうことです。例えば、本部の活動、宿題、追いつめられないとなかなか動きません。「やらない」と思っているだけで動かないのです。ただ口先だけになってしまいます。だからこれからは何事も計画的に最後までしっかりとやっていきたいと思います。

僕の将来の夢は知つてのとおり刀鍛冶です。しかし、しっかりとした目標のようなものはありません。まず、これを見つけないです。そして絶対になつてやると決意をもつてのぞんでいきたいです。

また、NHK鹿児島放送局の方に立志を迎えるにあたって講話をしていただきました。「夢」について、勉強をがんばること、諦めないでやってきたから道は開けたなど、自分の経験も踏まえた内容を離していただき、後半には生徒から質問もあり有意義な講話となりました。



黒板に大きく書かれた「夢」という字に負けないよう夢をもち、頑張り続けることについて参考になったと思つています。

最後に、14歳は法律でも子どもと大人の区切りになっています。14歳から刑事責任能力があることとされ、家庭裁判所の審判を受け、少年院送りとなつてしまふます。そして、更なる刑事処分が課せられるように罪が重くなる方向にあります。中学校卒業を機に社会に出て働く人もいます。多くは高校や上級学校へ進学しますが、自分の意志でそれぞれの学校や学科を選択し、やがては立派な社会人として生きていくために、今以上に自覚をもつて学習しなければなりません。自分の生き方を見つめ、判断し、決定し、努力し、達成する「ちから」を、中学生時代に身に付けてほしいと思つています。そして失敗や挫折を、他の誰かのせいにしてほしくないで苦しくとも乗り越えようと立ち向かう人間になつてほしいと願つていまふす。



全国学力・学習状況調査

4月19日(火)に「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る」と共に、学校での教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことを目的に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数(数学)の学力調査と学習状況調査が実施されます。

学力調査では、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、いつも活用できるようにすることが望ましい知識や技能、その知識や技能を実生活の様々な場面で活用する力、様々な課題解決のための構想を立てて実践し、改善する力などが調査され、学習意欲や学習方法、学習環境に関することは学習状況調査の中で行われます。

お別れ遠足

2月26日(金)、少し肌寒い天候でしたが、お別れ遠足を実施しました。目的地は口永良部島八景の一つである岩屋泊でした。今回は避難の訓練も兼ねて番屋ヶ峰までは車で移動し、そこから岩屋泊まで徒歩で移動しました。子どもたちの足取りはとても軽やかで、予定していた時間より1時間も早く目的地に到着したために自由時間を多くとることができました。お菓子を食べたり、洞窟を探検してみたりと全員が自由時間を楽しそうに過ごしていました。帰り道は上り坂が多かったですが、疲れている様子もなく、とても軽やかに歩いていました。そして、新村の景色を見てから学校に帰ってきました。



口永良部島八景の一つ、岩屋泊をバックに記念撮影

子どもたちが楽しみにしていた遠足が実施できて本当に良かったです。



土曜授業の実施について(お知らせ)

平成14年度から完全週5日制が導入され、豊かな体験活動を基盤としながら、児童生徒一人一人の生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな体)を育成するために様々な教育活動を行ってきました。しかし、学習定着度調査等の調査結果から、思考力、判断力、表現力の知識を活用する側面に課題があること等や、県政モニターアンケート(県のホームページから閲覧できます)調査において、83.0%の県民が土曜日に授業を実施した方が良いと回答した結果等から、土曜授業を含めた教育課程全体の見直しは有意義であることを示しました。

屋久島町では、学校週5日制において、保護者、各種団体、地域の協力で各種行事等が拡充され、一定の成果が見られた反面、家庭的、地域的、経済的要因等から、さらには個人のニーズ等から、休業日における教育活動としての取組に差も見られました。また、児童生徒の基礎学力の定着や学んでいく力等にも課題が見られます。これらのことから、町内全ての小・中学生の学習のために、より豊かな教育環境を提供するとともに、生きる力の育成を目指すために、平成27年度から土曜授業は必要であると判断し、月1回程度の授業を実施することになりました。

1 平成28年度 土曜授業の回数

○ 5・6・7・9・11・12・1月は、第2土曜日に実施

○ 10月は、第4土曜日に実施

※ 4・8・2・3月を除いた計8回の実施となります。

2 登校・下校時間

○ 8時～11時50分

・ 登校時間は、これまでと同様となります。
・ 下校時間は、11時30分頃を予定しています。

3 授業の内容

○ 学校行事、教科、総合的な学習の時間、道徳、児童会・生徒会活動などの授業を予定しています。

気づいていますか、いじめのサイン

夜(就寝前)	朝(登校前)
<ul style="list-style-type: none"> 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。 ささいなことでイライラしたり、物にあたりたりする。 学校や友達の話題がへった。 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。 パソコンやスマホをいつも気にしている。 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。 遅刻や早退がふえた。 食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。
夜間(就寝後)	夕(下校後)
<ul style="list-style-type: none"> 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。 教科書やノートにいやがらせのラクガキをされたり、やぶられたりしている。 服がよごれていたり、やぶられていたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ケータイ電話やメールの着信音におびえる。 勉強しなくなる。集中力がない。 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。 遊びのなかで、笑われたり、からかわれたり、命令されている。 親しい友達が遊びに来ない、遊びに行かない。

誰もが「いじめ」はいけないことと知っています。でも、知らず知らずのうちに、人を傷つけるような言葉を発していないでしょうか。もう一度あなたの言葉を見つめ直してみてください。「心を温かくする言葉」「傷つける言葉」あなたは、どちらの言葉を多く発していますか。一緒に生活するのだから、相手の心が「楽になり」「元気になる」「生きる力になる」

受賞おめでとう

「ありがとうの手紙」コンクール

☆【入選】

3月の主な行事予定等

3月	曜日	行事等
2・3	水・木	A L T 来校
4	金	学級 P T A 家庭教育学級
8・9	火・水	学校保健安全委員会
10	木	公立高校入試
14	月	実力テスト(中1・2)
15	火	卒業式全体練習・会場設営
16	水	学校関係者評価委員会
17	木	卒業式予行
20	日	小・中学校卒業式
21	月	公立高校合格発表日
22	火	児童生徒総会
25	金	祝日(春分の日)
26	土	振替休日
		6年生を送る会(小)
		修了式 大掃除 辞任式
		春休み(～4月5日)

ような、心が温まる言葉を話せるようになりたいですね。

そして、ご家庭でも、「いじめ」があれば毎日の生活の中に、これまでとちがった行動や態度などが現れます。左にある項目(いじめのサイン発見シートより抜粋)を参考に、ふだんの生活とのちがいを確認してください。「あれ?」と思うような行動等がある場合は、子どもの良き相談相手になるなど、子どもの気持ちに寄りそった対応をお願いします。詳しくは政府広報オンラインのホームページに「いじめのサイン発見シート」や著名人からのメッセージ動画を掲載した特集ページをご覧ください。

(<http://www.gov-online.go.jp/tokusyujime/>)